

第4回松本市家庭系ごみの排出量に応じた費用負担制度検討専門部会

日 時 令和8年3月13日（金）

午後1時30分から3時30分まで

会 場 松本クリーンセンター3階 大会議室

次 第

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 講 演

4 議 事

(1) 今後の専門部会の協議項目及び進め方について

(資料1：諮問項目に対する検討項目と検討順序（事務局案）)

(2) 答申案作成に向けた制度内容等の検討について

《検討順序が事務局案で決まった場合の資料として》

(資料2：ごみ種(品目)別の料金徴収方法・手数料の金額設定(料金体系)に係る検討表)

(資料2別添：1世帯における費用負担のイメージ)

(3) 次回の専門部会について

(4) その他

※ 検討を通して使用する資料【②③④は毎回使用するため、ご持参ください。】

① 制度内容検討資料1（制度内容の検討状況一覧表）※更新したものを毎回配布

② 制度内容検討資料2（自治体アンケート結果概要版）

③ 制度内容検討資料3（一般廃棄物処理有料化の手引き）

④ 制度内容検討資料4（令和8年度家庭ごみ・資源物の分け方・出し方）

5 閉 会

諮問項目に対する検討項目と検討順序（事務局案）

資料 1

今回の専門部会で決めること ①第9回及び第10回の専門部会で答申（案）を作成するため、第4回専門部会以降に検討する項目を決めていただきます。
②あわせて、決めた検討項目をどのタイミングの専門部会で検討するのかという検討順を決めていただきます。

諮問項目	答申（案）作成までに検討する項目	検討順	検討順の理由	自治体アンケート項目との関連性	自治体アンケート結果の概要	検討資料2ページ番号
【諮問重点項目1】 家庭系ごみの排出量に応じた費用負担制度の仕組みと導入効果	手数料を徴収するごみ種 ・可燃ごみ ・可燃ごみ、破碎ごみ、埋立ごみ ・可燃ごみ、破碎ごみ、埋立ごみ、資源物 など	先	・対象となるごみ種は、制度の根幹をなす部分であるため。	調査票2-問3問12	・有料化制度を導入していると回答があった38自治体すべてで可燃ごみを有料としている。そのほか、不燃ごみを有料としているのは31自治体、資源物を有料としているのは12自治体となっている。 ・可燃ごみを単独で有料化している自治体は4自治体のみで、残り34自治体は他のごみと組み合わせて有料化を導入している。 ・最も多い組み合わせは「可燃+不燃」で26自治体となっている。 ・プラスチック類を有料化対象としている理由として、レジ袋等容器包装削減のためのインセンティブを図る、ごみ処理に係る経費の一定割合の負担が挙げられている。 ・最も削減効果が高い有料化導入ごみ種は、実施前年度から実施年度にかけては「単一種（可燃ごみ）」、実施年度から実施後1年度にかけては「可燃+不燃」となっている。	P1～6 P13～23
	手数料の徴収方法 ・指定ごみ袋方式 ・シール貼付方式 など	先	・手数料の徴収方法は、制度の根幹をなす部分であるため。	調査票2-問4	・「指定ごみ袋方式」を導入しているのは22自治体、「指定ごみ袋方式とシール貼付方式の併用」を導入しているのは16自治体で、全ての自治体で何らかのごみ種で「指定ごみ袋方式」を導入している。 ・「指定ごみ袋方式」を導入している自治体におけるごみ種ごとの指定ごみ袋のサイズ種類と最大、最小サイズは以下のとおり。 ○可燃ごみ 4種類 5～40L ○不燃ごみ 4種類 5～40L ○プラスチック類 2種類 10～50L ○生ごみ 3種類 2～17L ・「シール貼付方式」を採用しているごみ種は、「粗大ごみ」（9自治体）、「袋に入らないごみ」（5自治体）、そのほか「旧指定袋使用時」等となっている。	P7～12
	根拠を含めた手数料の金額設定 （料金体系） ・〇L当たり〇円 ・10枚まで無料、以降〇L当たり〇円 など	先	・手数料の金額設定は、制度の根幹をなす部分であるため。	調査票2-問3問12	・最も多く導入されている料金体系は排出量単純比例型（均一従量制）で34自治体となっている。 ・その理由として、費用負担の公平化、仕組みが簡単で分かりやすいことが多く挙げられている。 ・「指定ごみ袋方式」による料金設定は、可燃ごみは1円/L、不燃ごみは2円/L、プラスチック、資源ごみは1円未満を導入している自治体が最多となっている。 ・「シール貼付方式」による料金設定は、金額設定が1円から9,900円まで様々であった。 ・シールの料金設定は、3種類以上で段階的に設定している自治体が多い（6自治体）が、1種類、2種類としている自治体（5自治体）と同数程度となっている。また、品目やサイズにより設定をしている自治体が多い（6自治体）。 ・金額を決定した根拠としては、多い順に①ごみ処理費用・原価の一定割合、②市民の過度な負担とならず減量の動機付けとなる水準、③他都市・近隣自治体の水準を参考の順となっている。	P1～6 P13～23
	手数料の使途の設定の有無	先	・徴収した手数料を何に使用すべきか決定することは、市民との合意形成にもつながる可能性があるため。	調査票2-問7	・手数料使途の内容は、ごみ収集運搬費用、ごみ処理費用、ごみ減量化施策・資源化リサイクル推進費用の順に多い。 ・使途を設定した理由で最も多いのは、「ごみ処理経費の一部負担・受益者負担のため」となっている。	P24
	減免制度の導入の有無及び導入する場合の減免対象範囲	先	・手数料の金額設定と併せて検討すべき事項であると考えられるため。	調査票2-問8	・減免制度は、約80パーセントの自治体で導入（対象38自治体のうち、30自治体で制度ありと回答）。 ・減免実施自治体30自治体中、27自治体が減免に上限を設定している。 ・減免制度なしと回答した自治体における減免制度を設けなかった理由としては、「ごみ処理費用の負担は、市民全員が公平であるべきと考えたため」が最多（6自治体）。 ・主な制度対象者は、多い順に以下のとおり。 ①生活保護受給世帯 ②乳幼児（2～3歳未満）のいる世帯 ③紙おむつ使用者（高齢者・障害者） ④児童扶養手当受給世帯 ⑤障害者手帳所持世帯（市民税非課税）	P25～28
	制度の見直し方法	後	・まずは、制度の内容について議論する必要があると考えられるため。	調査票2-問9	・有料化実施の「制度変更あり」が、18自治体/38自治体（47パーセント） ・制度を変更していない理由としては、「特に必要性がない」、「制度が市民に浸透」が多数。 ・変更内容は以下のとおり。 ○サイズ追加： 八王子市（不燃5Lミニサイズ追加） 松江市（可燃10L追加） 岸和田市（30L袋追加） ○制度方式変更： 佐世保市（シール貼付→補助券） 久留米市（可燃と不燃の兼用化）	P29～30
	ごみステーション等への排出の方法 ・規定を超えるサイズのごみの出し方 など	先		調査票2-問4	・指定袋に入らないごみの排出方法については、多い順に以下のとおり。 ①粗大ごみ収集 ②直接搬入 ③シール添付	P31
	収集方法や分別区分など、制度実施に伴い変更する事項	先	・対象となるごみ種や手数料の徴収方法と併せて検討すべき事項であると考えられるため。	調査票2-問18	（同時に実施した取組内容） ① 収集方法の変更 ・有料化と同時にステーションへの排出方法から戸別収集に変更した自治体が多い（6市） ・その他、「祝日収集の開始」、「粗大ごみ戸別収集の開始」（松本市実施済）などとなった。 ② 分別方法の変更 ・有料化と同時に資源物（プラ製容器包装、剪定枝など）の分別を開始した自治体が多い。 ・有料化を契機に資源化、リサイクルの促進を図る傾向にある。 ③ 収集頻度の変更 ・資源物の分別を開始、資源物回収回数増、不燃ごみの回収回数減とする自治体が見られた。 ・戸別収集移行に伴い、搬入量・車両の平準化による渋滞回避を図るとした自治体もあった。 ④ その他の取組 ・高齢者や障がい者のごみ出し負担の軽減を図る自治体が見られた。 （すこやかサポート事業・ふれあい収集） ・有料化による歳入増への対応として生ごみ処理機購入補助金（松本市実施済）の補助額を増額した自治体もある。	P32～36

諮問項目	答申（案）作成までに検討する項目	検討順	検討順の理由	自治体アンケート項目との関連性	自治体アンケート結果の概要	検討資料2 ページ番号
	市民の民意の把握 ・アンケート調査の実施 など		市民との合意形成の手法に移行	—	—	—
【諮問重点項目2】 市民との合意形成及び市民への周知啓発に係る手法	市民との合意形成の手法 ・パブリックコメントの実施 ・市民説明会の開催、市民アンケート調査の実施 ・市民の利便性向上（収集回数の増加など）に係る施策の実施 ・不法投棄対策の実施方法 など	中	・制度の実施を決定していく上では、市民の合意形成が必要不可欠となるため。	調査票2- 問10 問15 問16	（住民への説明内容） ・住民に対して、多くの自治体で「有料化の目的・理由」、「指定袋・料金・制度内容」、「減量・資源化方法」について説明を行っている。 ・「有料化の目的・理由」では、「最終処分場のひっ迫」、「ごみ減量・資源化の促進」を説明している自治体が多かった。 （有料化実施前に寄せられた意見） ・有料化実施前に寄せられた意見は、不法投棄・違反ごみへの懸念（不法投棄や野焼きが増えないか、マナー違反ごみへの対策）が最も多く、有料化への反対意見（有料化前にごみ減量、資源化に取り組むべき、ごみ処理費用は税金で負担）、経済的負担への不満（増税ではないか、手数料が高い）の順で多くなっていた。 ・次いで、減免措置に関する意見・要望（低所得者への減免措置、紙おむつ使用者への配慮）が多かった。 （ごみステーション等への不適正排出・不法投棄） ・有料化実施前後の不適正排出、不法投棄は、「実施後は増加、現在は減少」、「変わりなし」とした回答が多い。 ・不適正排出への対応方法は、警告シール添付後、一定期間ステーションに残置⇒市で回収が最多（17自治体）。	P37～44
	市民への周知啓発の手法 ・市民説明会の開催 ・戸別配布チラシの作成 など	中	・まずは、制度の実施における合意形成の手法について議論する必要があると考えられるため。 ・その上で、制度の実施決定以降の周知啓発方法について検討を行うもの	調査票2- 問14	（周知啓発の手法） ・約82%の自治体が市民説明会を実施。12自治体が100回以上説明会を実施。 ・説明会は、条例改正前後、複数年度にわたり実施する傾向にあった。 ・特徴的な周知啓発の手法については、「マスメディア（TV・ラジオ・新聞等）の活用」のほか、「お試し袋・試供品の配布」といった内容もあった。 ・集合住宅や外国人など対象別の対応も一部で実施していた。 ・コールセンターを設置し、ごみの出し方等含めて対応する自治体もあった。	P45～47
【諮問重点項目3】 家庭系ごみの排出量に応じた費用負担制度と併せて実施すべきごみ減量化、再資源化施策	制度実施時に併せて実施すべき施策	後	・まずは、制度の内容について議論する必要があると考えられるため。 ・その上で、制度の効果を向上させるための施策が考えうる場合には、検討を行うもの	調査票2- 問19 問20	（減量化・再資源化施策） ・「生ごみ処理機の補助」、「プラスチック容器包装の分別収集」、「定枝・枝葉等の分別収集」を実施した自治体が複数あった。 ・有料化と同時に減量化・再資源化施策を実施しなかった自治体が25自治体あった。 （不法投棄対策） ・不法投棄に対する具体的な施策を実施したとする自治体は約半数となった。 ・有料化による不法投棄の増加の懸念、市民の要望に対応するため、「パトロールの強化」を図る自治体が多数となっていた。 ・主な施策は、①パトロール強化、②監視カメラ・ダミーカメラ設置、③看板・ポスター設置などとなり、これらの施策は、不法投棄増加が懸念、予想されていたことや市民からの要望があったことによる。	P48～51

（各専門部会での検討項目）

	検討項目	検討項目（第3回専門部会での意見を受けての事務局案）
第4回専門部会 （令和8年3月を予定）		・手数料を徴収するごみ種 ・手数料の徴収方法 ・根拠を含めた手数料の金額設定（料金体系） ・ごみステーション等への排出の方法 ・収集方法や分別区分など、制度実施に伴い変更する事項
第5回専門部会 （令和8年5月を予定）		・手数料を徴収するごみ種 ・手数料の徴収方法 ・根拠を含めた手数料の金額設定（料金体系） ・ごみステーション等への排出の方法 ・収集方法や分別区分など、制度実施に伴い変更する事項
第6回専門部会 （令和8年7月頃を予定）		・手数料の用途の設定の有無 ・減免制度の導入の有無及び導入する場合の減免対象範囲
第7回専門部会 （令和8年9月頃を予定）		・市民との合意形成の手法 ・市民への周知啓発の手法
第8回専門部会 （令和8年10月頃を予定）		・制度の見直し方法 ・制度実施時に併せて実施すべき施策

ごみ種（品目）別の料金徴収方法・手数料の金額設定（料金体系）に係る検討表

ごみ種（品目）		対象内外の決定	徴収方法	料金体系	手数料の金額		
①	可燃ごみ	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式	<input type="checkbox"/> 排出量単純比例型（均一従量制） <input type="checkbox"/> 排出量多段階比例型（累進従量制） <input type="checkbox"/> 一定量無料型 <input type="checkbox"/> 負担補助組合せ型 <input type="checkbox"/> 定額制従量制併用型	（排出量単純比例型の場合） <input type="checkbox"/> 1円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 1円/ℓ <input type="checkbox"/> 1.1円～1.5円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 1.5円以上～2.0円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 2円/ℓ <input type="checkbox"/> 2.1円/ℓ以上（ 円/ℓ）		
			【自治体アンケート結果】 ・指定ごみ袋方式 22市/38市 ・指定袋・シール併用方式 16市/38市 ※併用の場合には、粗大ごみや指定ごみ袋に入らないごみの排出でシールを使用するケースが主です。	【自治体アンケート結果】 ・可燃ごみを有料化の対象としている38市のうち、34市（89.5%）が「排出量単純比例型」を採用 ・そのほか、排出量多段階比例型が2市（5.2%）、一定量無料型が1市（2.6%）、定額制従量制併用型が1市（2.6%）	【自治体アンケート結果】 ・1.0円/ℓ 10市/38市 ・2.0円/ℓ 8市/38市 ・1.1～1.5円/ℓ 7市/38市		
②	不燃ごみ	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式	<input type="checkbox"/> 排出量単純比例型（均一従量制） <input type="checkbox"/> 排出量多段階比例型（累進従量制） <input type="checkbox"/> 一定量無料型 <input type="checkbox"/> 負担補助組合せ型 <input type="checkbox"/> 定額制従量制併用型	（排出量単純比例型の場合） <input type="checkbox"/> 1円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 1円/ℓ <input type="checkbox"/> 1.1円～1.5円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 1.5円以上～2.0円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 2円/ℓ <input type="checkbox"/> 2.1円/ℓ以上（ 円/ℓ）		
						<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式
③	埋立ごみ	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式	<input type="checkbox"/> 排出量単純比例型（均一従量制） <input type="checkbox"/> 排出量多段階比例型（累進従量制） <input type="checkbox"/> 一定量無料型 <input type="checkbox"/> 負担補助組合せ型 <input type="checkbox"/> 定額制従量制併用型	【自治体アンケート結果】 ・指定ごみ袋方式 31市/31市 ・指定袋・シール併用方式 5市/31市 ※併用の場合には、粗大ごみや指定ごみ袋に入らないごみの排出でシールを使用するケースが主です。	【自治体アンケート結果】 ・不燃ごみを有料化の対象としている31市のうち、27市（87.1%）が「排出量単純比例型」を採用 ・そのほか、排出量多段階比例型が2市（6.4%）、一定量無料型が1市（3.2%）、定額制従量制併用型が1市（3.2%）	【自治体アンケート結果】 ・2.0円/ℓ 8市/31市 ・1.0円/ℓ 6市/31市 ・1.1～1.5円/ℓ 6市/31市
④	資源物	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式	<input type="checkbox"/> 排出量単純比例型（均一従量制） <input type="checkbox"/> 排出量多段階比例型（累進従量制） <input type="checkbox"/> 一定量無料型 <input type="checkbox"/> 負担補助組合せ型 <input type="checkbox"/> 定額制従量制併用型	（排出量単純比例型の場合） <input type="checkbox"/> 1円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 1円/ℓ <input type="checkbox"/> 1.1円～1.5円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 1.5円以上～2.0円未満/ℓ（ 円/ℓ） <input type="checkbox"/> 2円/ℓ <input type="checkbox"/> 2.1円/ℓ以上（ 円/ℓ）		
						<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式
⑤	粗大ごみ ※一部実施済	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式	<input type="checkbox"/> 排出量単純比例型（均一従量制） <input type="checkbox"/> 排出量多段階比例型（累進従量制） <input type="checkbox"/> 一定量無料型 <input type="checkbox"/> 負担補助組合せ型 <input type="checkbox"/> 定額制従量制併用型	松本市の実情に応じた独自の設定が必要		
						<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 一部対象（品目ごとに設定） <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> 指定袋方式 <input type="checkbox"/> シール方式 <input type="checkbox"/> 指定袋・シール併用方式

1 世帯における費用負担のイメージ（指定ごみ袋方式で手数料を徴収する場合）

【仮定している内容】

- 1 世帯で、1 か月に使用する指定ごみ袋は以下のとおり仮定
 - ・可燃ごみ：10 枚
 - ・破碎ごみ及び埋立ごみ：各 1 枚
 - ・プラスチック資源：5 枚
- 落ち葉・剪定枝用の指定ごみ袋の使用は、考慮しない。
- 手数料は、各ごみ種で 1.0 円/L、1.5 円/L、2.0 円/L の 3 パターンを設定

【まとめ】

- いずれのごみ種も、最大容量の指定ごみ袋を使用した場合を想定
- 手数料 1.0 円/L～2.0 円/L の範囲を表示

ごみ種のパターン	現状（袋代のみ）		費用負担制度を導入した場合の例（袋代込み）			
	月額	年額	月額（増加分は手数料）		年額（増加分は手数料）	
可燃ごみ	143 円	1,716 円	443 円～743 円	300 円～600 円の増	5,316 円～8,916 円	3,600 円～7,200 円の増
可燃ごみ+不燃ごみ（※）	180.4 円	2,164.8 円	540.4 円～900.4 円	360 円～720 円の増	6,484.8 円～10,804.8 円	4,320 円～8,640 円の増
可燃ごみ+不燃ごみ（※）+プラスチック資源	262.9 円	3,154.8 円	847.9 円～1,432.9 円	585 円～1,170 円の増	10,174.8 円～17,194.8 円	7,020 円～14,040 円の増

（※）不燃ごみ：破碎ごみ、埋立ごみ

【参考（現状の指定ごみ袋の種類等）】

	可燃ごみ		落ち葉・剪定枝用		破碎・埋立ごみ		プラスチック資源		
	30 L	15 L	70 L	45 L	30 L	15 L	45 L	30 L	15 L
材質	高密度ポリエチレン		低密度ポリエチレン		低密度ポリエチレン		高密度ポリエチレン		
厚さ	0.025 mm 以上	0.02 mm 以上	0.045 mm 以上	0.035 mm 以上	0.035 mm 以上	0.035 mm 以上	0.02 mm 以上	0.02 mm 以上	0.02 mm 以上
デザイン									
印刷文字色	赤色		緑色		青色		黄色		

【算出根拠】 1世帯における費用負担のイメージ（指定ごみ袋方式で手数料を徴収する場合）

【現状：袋代のみ】

ごみ種	指定ごみ袋 容量	袋代			
		月額		年額	
可燃ごみ	30L	143円	13円/枚×1.1×10枚/月	1,716円	143円/月×12か月
	15L	88円	8円/枚×1.1×10枚/月	1,056円	88円/月×12か月
破碎ごみ	30L	18.7円	17円/枚×1.1×1枚/月	224.4円	18.7円/月×12か月
	15L	17.6円	16円/枚×1.1×1枚/月	211.2円	17.6円/月×12か月
埋立ごみ	30L	18.7円	17円/枚×1.1×1枚/月	224.4円	18.7円/月×12か月
	15L	17.6円	16円/枚×1.1×1枚/月	211.2円	17.6円/月×12か月
プラスチック資源	45L	82.5円	15円/枚×1.1×5枚/月	990円	82.5円/月×12か月
	30L	71.5円	13円/枚×1.1×5枚/月	858円	71.5円/月×12か月
	15L	44円	8円/枚×1.1×5枚/月	528円	44円/月×12か月

指定ごみ袋の1枚当たりの価格は、過去に使用していた標準価格を採用

【家庭系ごみの排出量に応じた費用負担制度を導入した場合の例：手数料+袋代】

ごみ種	指定ごみ袋 容量	手数料	月額			年額					
			合計	手数料	袋代	合計	手数料	袋代			
可燃ごみ	30L	1.0円/L	1枚当たり30円	443円	300円	30円/枚×10枚/月	143円	5,316円	3,600円	300円/月×12か月	1,716円
		1.5円/L	1枚当たり45円	593円	450円	45円/枚×10枚/月		7,116円	5,400円	450円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり60円	743円	600円	60円/枚×10枚/月		8,916円	7,200円	600円/月×12か月	
	15L	1.0円/L	1枚当たり15円	238円	150円	15円/枚×10枚/月	88円	2,856円	1,800円	150円/月×12か月	1,056円
		1.5円/L	1枚当たり22.5円	313円	225円	22.5円/枚×10枚/月		3,756円	2,700円	225円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり30円	388円	300円	30円/枚×10枚/月		4,656円	3,600円	300円/月×12か月	
破碎ごみ	30L	1.0円/L	1枚当たり30円	48.7円	30円	30円/枚×1枚/月	18.7円	584.4円	360円	30円/月×12か月	224.4円
		1.5円/L	1枚当たり45円	63.7円	45円	45円/枚×1枚/月		764.4円	540円	45円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり60円	78.7円	60円	60円/枚×1枚/月		944.4円	720円	60円/月×12か月	
	15L	1.0円/L	1枚当たり15円	32.6円	15円	15円/枚×1枚/月	17.6円	391.2円	180円	15円/月×12か月	211.2円
		1.5円/L	1枚当たり22.5円	40.1円	22.5円	22.5円/枚×1枚/月		481.2円	270円	22.5円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり30円	47.6円	30円	30円/枚×1枚/月		571.2円	360円	30円/月×12か月	
埋立ごみ	30L	1.0円/L	1枚当たり30円	48.7円	30円	30円/枚×1枚/月	18.7円	584.4円	360円	30円/月×12か月	224.4円
		1.5円/L	1枚当たり45円	63.7円	45円	45円/枚×1枚/月		764.4円	540円	45円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり60円	78.7円	60円	60円/枚×1枚/月		944.4円	720円	60円/月×12か月	
	15L	1.0円/L	1枚当たり15円	32.6円	15円	15円/枚×1枚/月	17.6円	391.2円	180円	15円/月×12か月	211.2円
		1.5円/L	1枚当たり22.5円	40.1円	22.5円	22.5円/枚×1枚/月		481.2円	270円	22.5円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり30円	47.6円	30円	30円/枚×1枚/月		571.2円	360円	30円/月×12か月	
プラスチック資源	45L	1.0円/L	1枚当たり45円	307.5円	225円	45円/枚×5枚/月	82.5円	3,690円	2,700円	225円/月×12か月	990円
		1.5円/L	1枚当たり67.5円	420円	337.5円	67.5円/枚×5枚/月		5,040円	4,050円	337.5円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり90円	532.5円	450円	90円/枚×5枚/月		6,390円	5,400円	450円/月×12か月	
	30L	1.0円/L	1枚当たり30円	221.5円	150円	30円/枚×5枚/月	71.5円	2,658円	1,800円	150円/月×12か月	858円
		1.5円/L	1枚当たり45円	296.5円	225円	45円/枚×5枚/月		3,558円	2,700円	225円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり60円	371.5円	300円	60円/枚×5枚/月		4,458円	3,600円	300円/月×12か月	
	15L	1.0円/L	1枚当たり15円	119円	75円	15円/枚×5枚/月	44円	1,428円	900円	75円/月×12か月	528円
		1.5円/L	1枚当たり22.5円	156.5円	112.5円	22.5円/枚×5枚/月		1,878円	1,350円	112.5円/月×12か月	
		2.0円/L	1枚当たり30円	194円	150円	30円/枚×5枚/月		2,328円	1,800円	150円/月×12か月	

【参考（近隣他市の事例）】

【仮定している内容】

- 1世帯で、1か月に使用する指定ごみ袋は以下のとおり仮定
 - ・可燃ごみ：10枚
 - ・不燃ごみ：1枚（塩尻市）、2枚（安曇野市、金属類も不燃ごみの指定ごみ袋を使用するため）
 - ・プラスチック資源：5枚
 - ・資源物：1枚（安曇野市のみ）
- 指定ごみ袋の容量は、まとめて想定した容量（いずれのごみ種も、現状の松本市における指定ごみ袋の最大容量。ただし、該当が無い場合には、サイズの大きい容量）の場合と仮定
- 袋代は、松本市で類似する指定ごみ袋の金額と同額に設定（同一のごみ種がない安曇野市における資源物の指定ごみ袋は、不燃ごみと同額に設定）

（塩尻市）

ごみ種のパターン	月額	年額
可燃ごみ	765円	9,180円
可燃ごみ+不燃ごみ（※）	843.7円	10,124.4円
可燃ごみ+不燃ごみ（※）+プラスチック資源	926.2円	11,114.4円

（※）不燃ごみ：埋立ごみ（なお、破碎ごみという分別区分がない。）

ごみ種	指定ごみ袋 容量	手数料	月額			年額					
			合計	手数料	袋代	合計	手数料	袋代			
可燃ごみ	45L	1.33円/L	1枚当たり60円	765円	600円	60円/枚×10枚/月	165円	9,180円	7,200円	600円/月×12か月	1,980円
不燃ごみ（※）	30L	2.0円/L	1枚当たり60円	78.7円	60円	60円/枚×1枚/月	18.7円	944.4円	720円	60円/月×12か月	224.4円
プラスチック資源	45L		無料	82.5円		無料	82.5円	990円		無料	990円

（※）不燃ごみ：埋立ごみ（なお、破碎ごみという分別区分がない。）

（安曇野市）

ごみ種のパターン	月額	年額
可燃ごみ	443円	5,316円
可燃ごみ+不燃ごみ（※1）	480.4円	5,764.8円
可燃ごみ+不燃ごみ（※1）+プラスチック資源	562.9円	6,754.8円
可燃ごみ+不燃ごみ（※1）+プラスチック資源+資源物（※2）	581.6円	6,979.2円

（※1）不燃ごみ：埋立ごみ、金属類（缶除く。）（なお、破碎ごみという分別区分がない。） （※2）資源物：布類

ごみ種	指定ごみ袋 容量	手数料	月額			年額					
			合計	手数料	袋代	合計	手数料	袋代			
可燃ごみ	30L	1.0円/L	1枚当たり30円	443円	300円	30円/枚×10枚/月	143円	5,316円	3,600円	300円/月×12か月	1,716円
不燃ごみ（※1）	30L		無料	37.4円		無料	37.4円	448.8円		無料	448.8円
プラスチック資源	50L		無料	82.5円		無料	82.5円	990円		無料	990円
資源物（※2）	30L		無料	18.7円		無料	18.7円	224.4円		無料	224.4円

（※1）不燃ごみ：埋立ごみ、金属類（缶除く。）（なお、破碎ごみという分別区分がない。） （※2）資源物：布類